

国際看護研究会第10回学術集会(第46回国際看護研究会)

この度、独立行政法人国際協力機構(JICA)地球ひろばにおいて、国際看護研究会第10回学術集会(第46回国際看護研究会)を開催いたします。

国際看護研究会は今年度で12年目を迎え、学術集会は本年度で10回目となりました。

今回のメインテーマは、「差異の向こう側に～人、知恵、文化をつなぐ国際看護～」とし、基調講演を踏まえて2つのワークショップを企画しました。一般演題は口演が18題、ポスターが10題発表されます。

本学会が、国際看護の実践あるいは国際看護学の教育に携わる看護職やこれから日本の国際看護を担う学生の方々との有意義な意見交換の場になりますことを期待しております。皆様の積極的なご参加を心からお待ちしております。

<日時> 2007年9月15日(土) 9:30～17:00

<会場> 独立行政法人国際協力機構(JICA)地球ひろば

<学術集会会長> 千葉大学看護学部 岩崎弥生

<学術集会テーマ> 差異の向こう側に ～人、知恵、文化をつなぐ国際看護～

《プログラム》

【第1会場 3階講堂】

10:10 - 10:15 オリエンテーション

10:15 - 10:20 開会

10:20 - 11:00 基調講演

座長：森 淑江 (群馬大学)

「差異の向こう側に ～人、知恵、文化をつなぐ国際看護～」

第10回学術集会会長 岩崎 弥生 (千葉大学)

11:05 - 12:05 一般演題(口演) 第1群「国際協力」

座長：高田 恵子 (埼玉県立大学)

1. 中部ジャワ地震における災害復興回復期の現状と課題

宮菌 夏美 (鹿児島大学医学部保健学科)

2. モンゴルでの青年海外協力隊活動報告－高血圧セミナーを開催して－
堀口 みゆき（市立札幌病院）
3. タンザニア、ネワラ県における診療所巡回活動報告
－診療所保健師及び看護助手の血圧測定能力の実態と支援の方向性－
河野 紘子（名古屋大学病院）
4. セネガル村落部住民へのエイズ健康教育の実践報告
笠原 順子（京都大学医学研究科社会健康医学系）

12：05－12：35 一般演題（ポスター）

- P-1. インドネシア地域医療改善のための看護教育の取り組み
相原 洋子（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）
- P-2. パキスタン Aga Khan University における持続可能性のある地域健康支援
野崎 章子（千葉大学看護学部）
- P-3. ドミニカ共和国における地域看護師の保健指導教材の改善
山根 美智子（マザリー産科婦人科医院）
- P-4. グアテマラ共和国ウエウエテナンゴにおける先住民族女性のリプロダクティブ・ヘルス
常田 美和（日本赤十字北海道看護大学）
- P-5. ベトナム人看護師の日本での生活と仕事
グエン・タン・バン（袖ヶ浦さつき台病院）
- P-6. 日本の病院でのベトナム人看護師との協働体験
竹内 美佐子（袖ヶ浦さつき台病院）
- P-7. 京都市にあるA大学の留学生の健康に関連する悩みや要望
上山 晃太郎（京都橘大学）
- P-8. 米国アラバマ州における文化研修および異文化看護研修報告
屋久 裕介（千葉大学）
- P-9. 食事に見る異文化看護の一視点－米国での看護研修の体験から－
川本 晃子（千葉大学看護学部）
- P-10. アメリカ研修で得たりハビリテーションの新たな視点
大橋 百合子（東京医療保健大学医療保健学部）

12：35－13：30 昼食・休憩

13：00－13：25 平成19年度国際看護研究会総会

13：30－14：30 一般演題（口演） 第2群「看護国際比較」

座長：大野 夏代（札幌市立大学）

5. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究－中南米で発行された看護技術書の分析－
宮越 幸代（埼玉県立大学）
6. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究
－中国で活動する青年海外協力隊の報告書からの分析－
辻村 弘美（群馬大学）
7. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究－ラオスの看護に関する分析－
高田 恵子（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
8. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究－ネパールの看護に関する分析－
森 淑江（群馬大学）

14：35－16：05 ワークショップ1「健康支援はボーダーレス」

ファシリテーター：戸塚 規子（京都橘大学）

【スピーカー】

- 山谷地域の看護活動について・・・・・・・・・・鶴澤 喜恵子（訪問看護ステーションコスモス）
- 在日外国人のための無料健康相談会の活動について・・・田中 美和（特定非営利活動法人シェア）
- タンザニアにおける学校保健活動・・・・・・・・・・川邊 孝子（宇都宮市保健所健康増進課）
- 日本で看護師として働く私の経験・・・・・・・・・・ブイ ティ フェン（袖ヶ浦さつき台病院）

16：05－16：10 閉 会

16：10－17：00 茶 話 会 * どなたでも気軽にご参加ください。

【第2会場 3階セミナールーム301】

11:05-12:35 一般演題（口演） 第3群「各国の看護事情」

座長：荒木 暁子（千葉大学）

9. 日本の看護基礎教育用テキストにおける異文化看護の記述
大野 夏代（札幌市立大学看護学部）
10. Rapid City Regional Hospitalにおける感染管理方法
－MRSA感染率の減少に向けての感染看護の取り組みを通して－
森本 美智子（高崎健康福祉大学看護学部）
11. ネパールの医療事情と看護実践上の課題
福嶋 由香利（鹿児島市立病院）
12. モンゴル国における脳性麻痺児への看護の事例分析
バアサンフー・ウダワル（千葉大学看護学部）
13. ラオス・ベトナム スタディツアーに参加して
小原 江莉佳（日本赤十字広島看護大学看護学部）
14. 世界的な学生のネットワーク
遠藤 祐紀（群馬大学保健学科看護学専攻）

12:35-13:25 昼食・休憩

13:30-14:30 一般演題（口演） 第4群「諸外国における母子保健」

座長：金 壽子（首都大学東京）

15. インドネシアにおける出産の医療化と助産婦
宮菌 夏美（鹿児島大学医学部保健学科）
16. マダガスカル、アヴェ・マリア助産院の分娩台帳から母子保健の検討
茂呂 絵梨子（国立がんセンター）
17. グアテマラ農村部における母子保健活動の実践
八賀 愛（調布市健康推進課）
18. ラオスの県・郡保健局が認識している母子保健課題とTBA（伝統的産婆）の役割
栗山 晶子（山形大学医学部看護学科）

14:35-16:05 ワークショップ2「国際救援活動を通常の仕事にどのように活かしているか」

ファシリテーター：宮菌 夏美（鹿児島大学）

【スピーカー】

- 継続教育にどのように活かしているか・・・東 智子（日本赤十字社幹部看護師研修センター）
- 国際救援活動と大学における基礎看護教育・・・・・・・・・・弘中 陽子（日本赤十字看護大学）
- 臨床のマネジメントにどのように活かしているか・・・大草由美子（国立病院機構災害医療センター）